

クルマは早めのライト点灯
ハイビームの上手な活用を。

日が暮れて、
「見えない」危険を
「見える」安全に!!

歩行者・自転車は、反射材用品の活用
自転車は、早めのライト点灯を。



周囲の視界が悪くなる、薄暮時間帯※や夜間。 「光」の活用で、自分の存在をキラッとアピール。

交通事故が発生しやすい薄暮時間帯。

周囲の視界が悪くなり、クルマや自転車、歩行者の発見がお互いに遅れるためです。
ライトや反射材用品を活用し、自分の存在を周囲に知らせましょう。

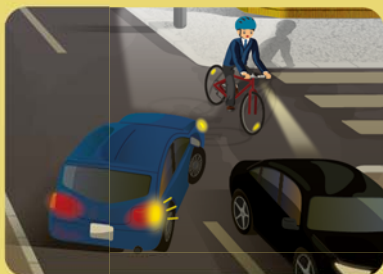
クルマ 早めのライト点灯、ハイビームのこまめな切り替えを。



- 早めにライトを点けて、自分の車の存在を周囲に知らせましょう。
 - ハイビームを上手に活用して、遠くの歩行者を早めに発見しましょう。
 - 速度を落として、慎重な運転を心がけましょう。
- ハイビームとロービームの照射距離の差は約60m。ハイビームを活用することで、歩行者などを早期に発見できます。



歩行者・自転車 反射材用品・LEDの活用と早めのライト点灯を。



- 反射材用品やLEDライトを活用して、クルマの運転者から見やすくなるようにしましょう。
- 自転車も、早めにライトを点灯しましょう。
- 薄暮時間帯や夜間は、自動車の距離や速度が分かりにくくなることが多いので、横断するときや自動車とすれ違うときは、昼間と比べて一層注意しましょう。



反射材用品
LED使用例

※薄暮時間帯とは、日没時刻の前後1時間をいいます（日没時刻は、月日や都道府県により異なります）。